

御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～魅力ある御坊を次世代へ～ vol.3

日本全体で人口減少が急速に進行する中、御坊市では、人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化させるため、「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、本年度より本格的に地方創生に取り組んでおり、広報ごぼう6月号から、広報紙面で、「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について随時ご紹介しています。

今回は「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進」についてご紹介します。

◇御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「人口ビジョン」と「総合戦略」からなる計画です。

人口ビジョンは、御坊市の人口の現状や動態を分析し、将来の目標人口と目指すべき方向性を示したものです。

総合戦略は、その目標達成に向けた具体的な施策をまとめたものです。

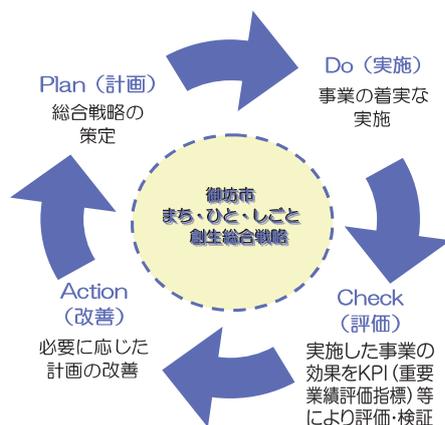
前回(vol.2)までの掲載分については、御坊市ホームページ (<http://www.city.gobo.wakayama.jp/sosiki/somu/kikaku/tanto/sosei/koho.html>)でご確認ください。



御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

- ・戦略を実効性のあるものとするため、各界の外部有識者が参画する「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議」を開催し、推進状況を確認するとともに、必要に応じて計画を見直します。
- ・若者を中心に目標達成に向けたワークショップを実施します。

【PDCA(Plan-Do-Check-Action) サイクルのイメージ】



【御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進ワークショップ開催の流れ】

	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31
御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進ワークショップ	戦略策定	年2回実施 御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進ワークショップ			最終年次

◇問い合わせ 企画課 ☎0738-23-5518

りんこうで楽しく電車のお勉強 ～てつどうワクワクたんけん学校～



▲りんこうの運転席で運転士疑似体験

6月13日、紀州鉄道紀伊御坊駅で「てつどうワクワクたんけん学校」が開催され、愛徳保育園年長児18人が、紙芝居や体験学習を通じて、楽しみながら電車について学習しました。

「てつどうワクワクたんけん学校」は、子どもたちに地域の鉄道に親しみを持ってもらい、また鉄道を安全に利用する方法を知ってもらうことなどを目的に、国土交通省近畿運輸局が開催しています。

最初に、園児たちは紙芝居で「電車に乗るときには、電車とホームのすき間や段差に注意」など、電車に乗る際のマナーやルールを学びました。

その後、園児たちは、りんこう「キテツ2号」の運転席に座り、運転士疑似体験や車内アナウンス体験を行いました。